

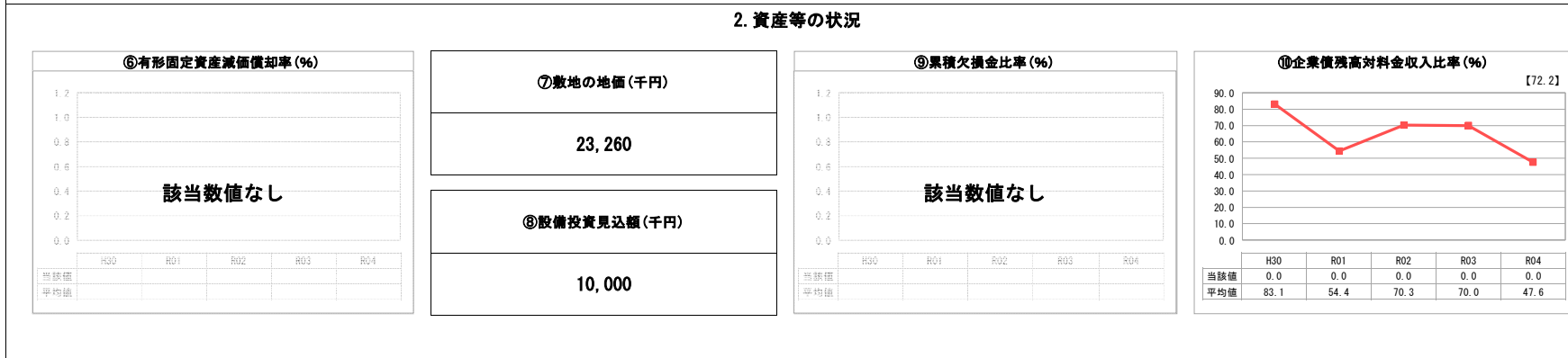
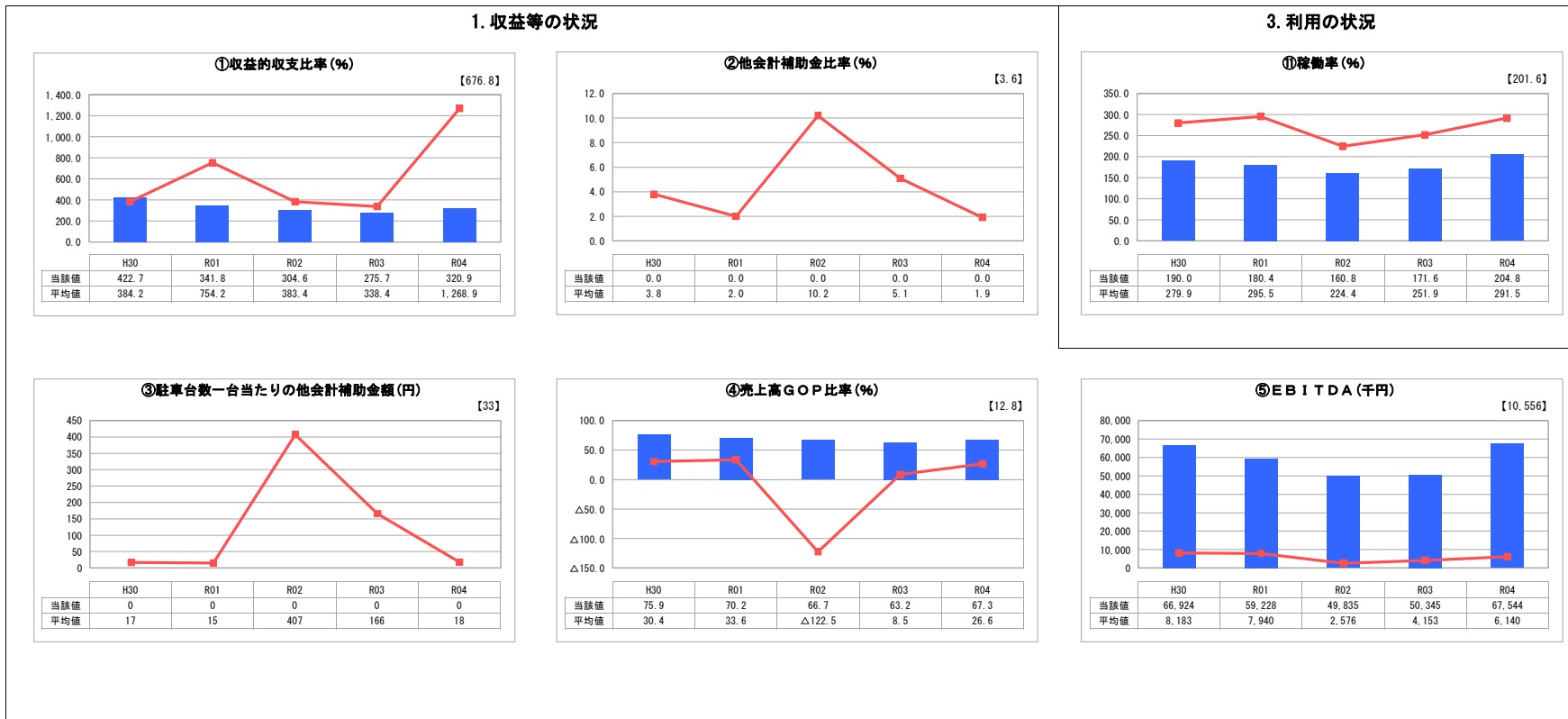
経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県秩父市 三峰駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	16	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
商業施設	無	9,086
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
250	1,570	無

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率については、100%を超えており、健全性は十分に確保されていると考えられる。

②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金額は、当施設は他会計補助金を繰り入れていないため、0円である。

④売上高GOP比率については、当施設は類似施設平均を超え、施設の営業に関する収益性は高いと判断できる。

⑤EBITDA (減価償却前営業利益)については、当施設は類似施設平均より高いことにより、本業の収益性は高いと判断できる。

2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されない。

⑦敷地の地価については、固定資産台帳による。

⑧設備投資見込額については、駐車場整備等を見込んでいる。

⑨累積欠損金比率は、当施設については地方公営企業法非適用事業であるため、指標は算出されない。

⑩企業債残高対料金収入比率については、当施設は、企業債残高が無いため、指標は算出されない。

3. 利用の状況について

⑩稼働率については、当施設は類似施設平均値を下回っているが、ほぼ横這いとなっている。当施設のある三峰地区については、当施設以外の駐車場施設が皆無であり、需要はあると考えられる。

全体総括

当施設については、三峰地区に昭和62年県道の編入に伴い、駐車場施設を旧大滝村当時（現秩父市）が譲り受け、村営駐車場（現市営）として管理運営を行っている。

収益の状況については、独立採算により運営されており、利用状況も施設の稼働率も、ほぼ横這いとなっている。

施設の管理や適性規模、抜本的な改革については、今後更に検討していく。